

平成 27 年度第 3 回（新第 2 回）岡谷市行政改革審議会 会議録

- 日 時 平成 27 年 12 月 17 日（木） 15：00～17：00
 - 場 所 庁舎 605 会議室
 - 配布資料
 - ・資料 1 岡谷市行政改革 3 か年集中プラン（H28～30 年度）【概要版】
 - ・資料 2 岡谷市行財政改革プラン 3 か年集中プラン（案） 《諮問書含む》
 - ・資料 3 岡谷市行政改革 3 か年集中プラン実施計画（H28～30 年度）
 - ・資料 4 今後の審議日程及び内容
-

1 開 会

山岸課長 只今から、第 2 回岡谷市行政改革審議会を開催いたします。

（岡谷市民憲章唱和）

2 会長あいさつ

今日の予定は、新しい「岡谷行財政改革プラン」について、市長さんから「諮問」を受けることになっております。その後で、非常に大事なプランということを委員の皆さん、共通認識を持って慎重に審議をしていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

3 諮 問

山岸課長 続きまして、市長から「岡谷市行政改革審議会」に対しまして、岡谷市行財政改革 3 か年集中プランの策定についての諮問を行います。市長よろしく申し上げます。
会長さんは、市長の前にお進みください。

《 諮 問 》

山岸課長 ありがとうございました。

4 市長あいさつ

改めまして、こんにちは。委員の皆様には、年末の公私とも大変お忙しい中、岡谷市行政改革審議会にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。

また、皆様には、日頃から岡谷市の行財政運営に対しまして、深いご理解・ご協力をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

岡谷市は、昭和 60 年に「岡谷市行政改革大綱」を策定しまして、現在は、平成 18 年度から現行プランであります「岡谷市行財政改革プラン」によりまして、新しい財源の確保による歳入確保や事務事業の見直しなどによる歳出の削減などに、積極的に取り組みまして一定の成果をあげてきているところであります。

しかしその一方で、人口減少、少子高齢化の時代となりまして、社会保障費の増大、また、高度成長期に集中的に整備をしてまいりました、公共施設の老朽化といった新たな問題が生じてきている

ところでございます。

こうしたことから、多様化する市民ニーズへ、そしてまた、将来を見据えた持続可能な行財政運営の実現のために、新たな行財政改革の計画を策定しまして、積極的な取り組みを推進することといたしました。

只今、諮問をさせていただきました、計画(案)につきまして、それぞれの分野でご活躍の委員の皆様から様々な意見をいただきまして、実効性のある計画を作ってまいりたいと、そんな風に考えておりますので、委員の皆様には活発なご審議を賜りますようお願いを申し上げます。挨拶とさせていただきます。どうか、よろしくお願い申し上げます。

(市長公務により退席)

5 会議事項(議長:会長)

(資料の確認:事務局矢崎主幹)

(1) プラン(案)の概要説明について(事務局矢崎主幹より説明)

会 長 只今、事務局から説明がありましたが、このプランの全体像で、委員の皆様から質問等ありましたらお願いします。

無いようですので、この後、細かな内容説明を受けますので、聞いてから再度質問等ありましたらお出しいただきたいと思います。

それでは、次に進みます。

次に、(2)プラン(案)の審議について、事務局より説明をお願いします。

(2) プラン(案)の審議について(事務局矢崎主幹より説明)

会 長 只今、事務局からプラン(案)の内容について説明がありましたが、具体的な内容説明をいただき、最後には何をやるかまで決められている。細かなところは、皆さん持ち帰って読み直していただき、次回にご質問等をいただくこととなりますが、本日は、基本的な考え方や、全体を通じて何かご質問等ありましたらお出しいただきたい。

会 長 私から一つよろしいですか。数値目標であります。現行のプランでは、普通建設事業費で20億円台の確保だとか、財政調整基金の10億円台の確保といったものが、このプランでは、基金残高と地方債現在高に変わっているが、そこら辺の違いについて教えていただきたい。現在の目標値をここに参考までに示していけば、わかりやすいと思うが。

職員の削減目標値も掲げていただいておりますので、厳しく設定しているとは思いますが。

小口部長 今回の数値目標は、より具体的に示させていただいている。職員数は、非常に厳しい部分がある。この3か年でより具体的な目標を立てて取り組みたいと考えていることから、このような数値目標とした。

今まで、数値目標を普通建設事業費といった総体的に捉える目標値でやってきたが、少しくくりが大きすぎるため、3年間の短い期間でやるため具体的に見えてくる数値目標とした。基金は、全体的で捉えるようにした。

委 員 A 歳入確保への取組の中に、平成28年度に全面見直しとあるが、施設使用料等があると思うが、これは値上げをするといった前提で書いてあるのか。

矢崎主幹 値上げを前提としているものではありません。適正な金額かを検討をして料金を定めるということであります。従いまして、コストがかかっていなければ下げたりすることも想定されます。3年に1度は必ず行うこととしています。

委員A 来年度見直しをして、そのままということもあるし、適正でなければ値上げをすることになるのか。

小口部長 3年ごとに見直しをする狙いは、公共施設はすべての経費を使用料で賄うことはできないので、税金を投入している状況であります。その比率が、管理経費などの変動に伴い変わるので、受益者負担の原則から、どこまでが適正なのかを見極めながらやることとしている。具体的には、茅野市が使用料の見直しをしているが、市外の利用者の使用料を大幅に値上げしようとしている。岡谷市でも以前そのような検討もした。また、利用者数の変化や開場時間の変動によっての見直しも行ってきている。値上げをすることが前提ではなく、使用料が適正であるかを検証して見直しをすることと、ご理解をいただければと思います。

委員B 収納率の維持・向上における取り組みとして、幾つかあげられてはおりますが、具体的にどうするかは当然考えているということによろしいか。

小口部長 例えば、市税の収納率では、期日前納付に力を入れてやっている。6月30日までに納めるものがあれば、6月30日までに納めていただく努力です。そのため、口座振替にさせていただくことで、滞納分を増やさない努力を重点的に取り組んでいる。

このプランの中には、それら細かい部分まではかけませんので、目標数字を設定して、数字を追いながら具体的に取り組むこととしている。

委員B それぞれの項目に、具体的な手法を持っているということによろしいですね。

小口部長 そのような理解で、結構であります。

会長 実施計画で、初めて聞くようなものがあってわからない。クラウドファンディングとか、ネーミングライツ、サンセット方式とはどういったものか。

矢崎主幹 クラウドファンディングについては、民間から資金を集めまして、それを財源として事業を行うような内容です。ネーミングライツは、施設に名前を付けることで、管理運営費などとして費用を出していただく内容である。サンセット方式は、新たな補助金とかあるが、期限を3年間と定め3年後には止めることを徹底するといった内容です。

用語集を作成しまして、次回までには配布させていただく。

委員C 職員の定数では、減らす目標値になっているが、一方で、嘱託・臨時職員の活用がありますけれど、これは、正規を減らしてパートを増やすといった民間でやっている手法なのでしょうか。

矢崎主幹 そのように見える部分もありますが、正規職員の定数につきましては、企画課で管理をしております。各担当課の業務量等に応じて、職員の定数を決めているのが現状である。事業の終了や事業を集約することで業務量が減った場合には、職員数も削減となる。しかし、業務量が増えれば職員数も増やさなくてはなりませんので、安易に職員の削減をするものでないことをご理解いただきたい。

職員を削減して、嘱託・臨時化ということは、安易にやらないようにしている。嘱託職員は、正規職員でなくても専門知識を持った方ならできる業務については嘱託職員を配置している。臨時職員については、正規職員の事務補助といった考え方で配置している。

委員C 昔、聞いたことがあるが、市民が窓口に行ったときに接する方のほとんどが、嘱託や臨時職員で、後ろに座っている方が正規職員と聞いたが、それは本当ですか。

矢崎主幹 市の窓口業務につきましては、定型的な業務は臨時・嘱託職員に切り替えてきている経過もあります。ただし、専門的な知識を要する窓口については、正規職員が対応させていただいております。

委員C 正規職員に対して、臨時職員等は何名位いるのか。

小口部長 企画課では、臨時職員の部分は時間で管理をしておりますので、総務課で管理している数字を次回お示ししたい。

時間で管理している理由としては、保育園の調理師などは短時間の対応となっていたり、保育時間の延長により、短時間のパート保育士で対応するなどしているため、人数ではその時々で違うため、時間管理としている。

会長 細かな部分の質問に関しましては、次回以降行うことといたしまして、全体を通じて何かありましたらお願いします。無ければ、本日の審議につきましては、ここまでとさせていただきます。

西山主査 先程の臨時職員等の質問であります。嘱託・臨時職員あわせて、平成26年4月1日現在の数字では、459名となっております。

委員C 嘱託・臨時職員は459名で、正規の人数は427名ですね。

小口部長 この職員数は、短時間の方も含まれておりますので、誤解のないようにお願いいたします。

会長 臨時職員の時間数も、お示しいただけるのか。

小口部長 整理して、報告させていただきます。

もし、数値的なことや質問等が事前にわかれば、担当にご連絡いただければ資料等を用意させていただきますので、効率よくできるようによろしくお願いいたします。

6 その他

会長 それでは、事務局から今後の審議日程など連絡がありましたらお願いいたします。

(今後の審議日程及び内容：事務局矢崎主幹)

- ・次回は、1月14日（木）午前10時から12時まで
- ・第4回目として、1月20日（水）午前10時から12時まで
- ・第5回目として、1月27日（水）午前10時から12時まで
- ・パブリックコメントに実施

西山主査 審議会終了後、本日からホームページにアップいたします。また、市役所のインフォメーションと各支所、駅前出張所に設置いたします。期間は、1月15日まで行います。

委員D 市民の意見を聞くことは、非常にいいことであります。今まで、疑問として少しありましたが、職員の方は一生懸命作成してわかっていますが、市民にも周知していただき意見を聞くことで、協力体制を作ってやっていただきたい。

7 閉会

会長 ありがとうございます。その他よろしいでしょうか。それでは以上で本日の会議を閉じたいと思います。

山岸課長 以上をもちまして、第2回岡谷市行政改革審議会を終了いたします。ありがとうございました。